

資料3

令和元年度

学校経営・運営ビジョン、各部・各学年努力目標

評価・分析・反省

福島県立会津第二高等学校

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
I 学校経営・運営ビジョン				
自ら学ぶ意欲の育成				
1 基礎基本の定着				
①	習熟度に応じた分かりやすい授業を目指します。		3.7	13
②	繰り返し学習を徹底し学習事項の定着を目指します。		3.7	13
2 受験指導の充実				
①	個別添削指導、模擬面接、小論文指導を通して、進路達成を支援します。		3.8	4
3 充実した学校生活				
①	学校行事・部活動を通して、円滑な人間関係を育成し、連帯感を深めます。		3.6	20
②	個別面談を通して、学習上の悩みや課題の解決、また、学校生活における悩みや課題の解決を目指します。		3.8	4
結果に対する分析・反省（担当:教務）				
アクティブラーニングの重要性が高まっている中、本校においても各教員がさまざまな工夫をし、生徒の基礎基本の定着に努めている。しかし、生徒の能力差や学習意欲、コミュニケーション能力など課題も多く、その成果は十分とはいえない。今後も学校全体でそうした課題を共有しながら、解決のための糸口を探っていきたい。受験指導については、生徒の意識がなかなか高まらない中、担任を中心に進路指導部や各教科が一体となり、生徒の進路実現に向けて努力し、高い進路決定率を残すことができた。				
職業観の育成				
1 進路意識の向上				
①	『進路講話』『就職準備会』など、進路行事を通して、進路意識の高揚を図ります。		3.7	13
②	企業訪問の充実と、就職面接会への積極的参加を目指します。		3.7	13
2 進路情報の活用				
①	『進路だより』を通して、生徒・保護者への情報発信に努めます。		3.7	13
②	ハローワークをはじめ、関係機関との連携を元に、進路達成を支援します。		3.6	20
3 進路相談の充実				
①	担任、進路係、進路アドバイザーとの面談を通して、進路希望達成に向けて個々の支援を図ります。		3.7	13
結果に対する分析・反省（担当:進路指導）				
1 ①目的別に低学年、高学年に分けて実施。4年生は7月に就職準備会を実施したことが進路意識の高揚につながった。②企業訪問の内容は進路だよりに掲載し在校生への進路意識の喚起を図った。入社前後の生徒の印象が変わることがあるので注意が必要である。 2 ①進路だよりの発行の時期を工夫したい。②ハローワークの学卒ジョブサポーターとは会議等で、進路アドバイザーとは打ち合わせを特定の曜日と時間に設定し固定したこと、更に必要があれば電話連絡等をし密にした。 3 ①有効な時期に準備をし面談を実施出来たことが高い内定率につながった。				
社会性の育成				
1 基本的生活習慣の育成				
①	登下校指導・給食指導を通して規則的な生活習慣を育成します。		3.6	20
②	『生活体験発表会』を通して、自己実現を支援します。		3.8	4
③	個別面談を通し、生活上の課題解決を支援します。		3.6	20
2 安全教育の推進				
①	『教養物乱用防止教室』『防犯教室』『スマホ・ケータイ安全教室』を実施し、安全意識向上に努めます。		3.8	4
②	『相談室だより』を通して、安全な生活の向上を支援します。		3.9	1

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
3 心と身体の健康				
①	「ほけん便り」「給食だより」を通して情報発信に努め、健康意識を高めます。		3.8	4
②	個別面談を通し健康の支援をします。		3.7	13
③	『心の健康教室』を通し、精神面での支援をします。		3.8	4
結果に対する分析・反省（担当:生徒指導）				
1－①普段から声かけを通して挨拶、礼儀、行動、言動など基本的生活習慣の確立を促す事が出来た。1－②国語科の先生を中心に文章表現や書き方などを指導し、貴重な体験を通して心の成長が出来た。1－③生徒の実態把握や問題解決を促す事が出来た。2－①交通安全教室や薬物乱用教室では、生徒自ら考える学習ができ、安全に対する意識が高まった。2－②指導部だよりを通して、安全意識の向上と規範意識の徹底が出来た。3－①②③各便りや教室を通して健康意識の向上や精神面でのサポートが出来た。				
地域社会との連携				
1 学校・家庭・地域との情報共有、連携の強化				
①	『ホームページ』『PTA会報』『学校だよりオーロラ』による情報提供に努めます。		3.8	4
②	授業や学校行事の公開に努めます。		3.9	1
③	学校評価に取り組み結果を公表します。		3.9	1
④	服務倫理委員会を定期的に開催し、不祥事の根絶を目指します。		3.8	4
⑤	ボランティアの機会を通して社会貢献の意義と役割を実感させます。		3.8	4
2 事業主との連携強化と、働く生徒の支援				
①	在学中の就業率を向上させるため、就労情報の提供や、相談を充実させ、就業定着指導に努めます。		3.3	24
結果に対する分析・反省（担当:保健）				
1 校内の情報はホームページや学校便りのホームページ掲載、PTA会報などにより発信した。また学校へ行こう週間に合わせた学校開放のほか、希望者には日程調整の上、授業を見学してもらった。個人情報の取扱いに配慮しながら、今後も校内情報を発信していくことは必要であるが、配布物が生徒から保護者へ渡されていないケースもあり、改善が求められる。 服務倫理委員会を毎月開き、教職員の服務倫理意識の向上に務めた。 ボランティア活動として鶴ヶ城清掃を実施した。保護者の方や同窓会役員の方にもご参加頂き、観光客の方からねぎらいの言葉を掛けられることもあり、生徒達も熱心に作業を行っていた。 2 生徒の就業を後押しし、就業率は6割前後で推移している。今後も声かけを継続することが大切であると思われる。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
Ⅱ 教務部				
1 授業及び学習環境の充実を図る。				
①	①生徒の実情に合った適切な学習指導年間計画を各自作成するとともに、評価基準を明確化する。		3.9	1
②	②授業時間の確保および規律遵守の観点から授業時の「chime to chime」を行う。		3.6	13
③	③出張等、各教員の動向に常に気を配り、必要がある場合には特別時間割を作成する。		3.9	1
④	④自習時間を作らないために、教科担任不在の際は、授業交換や授業代行を行う。		3.9	1
⑤	⑤次年度に向けて、生徒の実態に応じた適切な教育課程を編成する。		3.9	1
2 生徒個々の状況や希望を考慮した学習支援に努める。				
①	①成績不振者や欠課時数が増えてきた生徒に対し、改善指導をする。		3.8	8
②	②ガイダンスや部長面談を通して三修制について生徒に説明する。		3.8	8
③	③生徒を理解するため部長面談を実施する。		3.9	1
④	④進路希望に応じ、各教科において個別指導を実施する。		3.7	12
3 生徒の主体的・対話的な姿勢を育成し、深い学びへのきっかけを				
①	①各種研修(アクティブ・ラーニングを含む)の成果を職員協議会等を通じて全職員で共有する。		3.6	13
②	②授業の質と指導力向上のため、アクティブ・ラーニングの導入を推し進め、互いに意見交換をする機会を設ける。		3.6	13
③	③総合的な学習の時間に課題学習を取り入れ、生徒の主体的、対話的な活動を促す。		3.8	8
④	④二高ルーブリックを作成し、自分の状況を生徒に把握させるとともに教員側の指導に活用する。		3.4	16
4 保護者および地域への情報発信を行う。				
①	①学期末などに保護者と担任が情報交換をする機会を設定する。		3.9	1
②	②学校案内を作成する。		3.9	1
③	③ホームページで学校情報を発信する。		3.8	8
結果に対する分析・努力目標の反省				
授業と学習環境の充実については、各項目とも比較的高い数値となった。これは各教員が授業を大切にしていることの表れと思われる。「chime to chime」は相対的に低いが、教員間に徐々に浸透しつつある。主体的、対話的姿勢の育成については、各教員が工夫はしているものの、成果としてはまだまだ不十分である。特にルーブリックの活用については教員側の話し合いを重ねていく必要がある。情報発信については担任を始め、各部、情報係が行っているが、今後も学校を理解してもらい協力を得るためにも積極的に行っていきたい。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
Ⅱ 生徒指導部				
1 基本的生活習慣の育成…ルールを遵守する態度、基本的生活習慣を身に付けさせる。				
①	登下校指導の実施		3.8	7
②	給食指導		3.8	7
③	集会時の指導（整列指導・講話）		3.6	16
④	遅刻早退者への個別指導		3.8	7
⑤	集会時の講話		3.9	1
⑥	「生徒指導部だより」の配布		3.9	1
⑦	職員室等への入退室における挨拶指導		3.8	7
2 主体性の育成…主体性を育成するとともに、生徒理解に努める。				
①	ボランティア活動の実施		3.8	7
②	アルバイト先の調査・指導		3.6	16
③	生活体験発表の指導		3.8	7
④	個別面談の実施による生徒の状況把握		3.9	1
⑤	担任との連携による生徒理解		3.6	16
⑥	中学校訪問による新入生の状況把握		3.9	1
⑦	被害実態調査の実施		3.9	1
3 安全教育の推進…安全教育を徹底し、生徒の意識を高める。				
①	交通安全教室の実施		3.8	7
②	薬物乱用防止教室の実施		3.8	7
③	インターネット・防犯教室の実施		3.1	19
④	啓発ポスターの掲示・更新		3.7	15
⑤	「休業中の生徒心得」発行		3.9	1
結果に対する分析・努力目標の反省				
1－①②③当たり前の事がごく普通に出来るよう継続した指導を行いたい。④特に遅刻や欠席が多い生徒を個別指導している。⑥指導部便りを毎月発行しLHR等で各担任より注意を呼びかけている。2－①鶴ヶ城の清掃を真面目に取り組む、観光客からお褒めの言葉等を頂いた。②年度初めにアルバイト先等の調査を行った。③生徒の思いが詰まった素晴らしい発表会であった。⑥生徒指導部を中心に中学校時の状況を把握できた。⑦いじめ等が学校内で無く、生徒が他者を「リスペクト」する気持ちをもって生活している。3－①②今年度は外部講師を依頼し、生徒の安全面に関しての意識が高まった。交通安全教室では、地域安全に関する交通標語を生徒に作成させ若松警察署に応募した。③今年度実施出来なかった。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
Ⅲ 進路指導部				
1 進路意識の向上を図る。				
①	生徒との面談や進路希望調査を通して生徒の進路希望を早期に把握し、計画的に個別面談等の指導にあたり、就職面接会等に積極的に参加する。		3.7	3
②	進路講話、就職準備会等の進路行事を実施する。		3.7	3
③	就職の手引き、進学の手引き、公務員の手引きを作成する。		3.6	8
2 望ましい職業観を育成する。				
①	アルバイト等、就労の奨励に努め、諸手続きの際の挨拶をしっかりと指導する。		3.6	8
②	各学年主導で各種適性検査を実施する。		2.6	13
3 進路情報の活用を促進する。				
①	年3回以上の『進路だより』の発行により、生徒と保護者への情報の効果的な提供を行う。		3.7	3
②	ハローワークや進路アドバイザー等、関係諸機関との連絡を密にし個別面談を通し進路実現を支援する。		3.6	8
4 受験指導を充実させる。				
①	実際の進学や就職試験問題を提示し、個々を支援する。		3.7	3
②	個別の添削指導、模擬面接、小論文指導を実施する。		3.8	1
5 求人開拓を行う。				
①	(1)企業訪問、内定した企業へのお礼訪問を実施する。		3.8	1
②	(2)ハローワーク主催の就職面接会に目的意識を持って積極的に参加する。		3.3	12
③	(3)来校求人者へ本校を正しく理解してもらう。		3.7	3
④	(4)ハローワーク主催の企業採用担当者と進路指導教諭の情報交換会に参加する。		3.6	8
結果に対する分析・努力目標の反省				
1 ①希望調査を計画的に実施し調査をもとに個別に対応した。本年度は就職未決定者の就職面接会への参加がなかった。②目的別に低学年、高学年に分けて実施し、4年生は7月に就職準備会を実施したことが進路意識の高揚につながった。③今年度は在校生全員に就職の手引き、該当の4年生に進学、公務員の手引きを配布した。 2 ①ハローワークが毎週発行する求人情報を計画的に毎週掲示出来たことが要因であり、諸手続きの際助言を与えて取り組ませた。②生徒の実態を十分踏まえ各学年の考えを参考になるよう検査案内の回覧の回数を増やしていきたい。 3 ①進路だよりの発行の時期を工夫したい。②ハローワークの学卒ジョブサポーターとは会議等で、進路アドバイザーとは打ち合わせを特定の曜日と時間に設定し固定したこと、必要があれば電話連絡等をし密にした。 4 ①就職書類が完了後受験報告書を参考に受験に臨ませた。②積極的に登校前に教科担当者に個別指導を受けた生徒もいた。面接指導は複数の教員で協力したことが大きな要因である。 5 ①企業訪問の内容は進路だよりに掲載し在校生への進路意識の喚起を図った。内定した生徒にはお礼訪問の内容を伝え4月からスタート出来るよう助言を与えた。②本年度は就職未決定者の参加がなかった。③来校者にはスクールガイド等を配付し本校について十分理解してもらえるよう努めた。④6月に実施。様々な企業の人事担当者と企業理解と求められる人材について確認をした。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
IV 保健部				
1	基本的生活習慣の育成…規則正しい生活が重要であることを理解させる。			
①	健康に留意した生活習慣を身につけさせるための啓発活動として、保健便りを作成する。		3.8	4
②	三食きちんと食事をとることと給食を食べる習慣を付けるために朝食を見直そう週間を2回実施する。		3.7	12
③	食後の歯磨きを習慣づけるためのポスターを作成。		3.6	16
④	喫煙・受動喫煙の影響について、保健便り等で注意を呼びかける。		3.7	12
2	相談活動を充実…(1)健康上の問題がある生徒に個別面談を実施し、個々の問題点を明らかにさせる。(2)カウンセラーを積極的に活用し、専門的な視点でアドバイスを頂き、指導の徹底を図る。			
①	SC講話の「心の健康教室」を実施する。		3.9	1
②	保護者対象のSCによるカウンセリングを1回実施する。		3.8	4
③	中高連携シート・保健基礎調査票による事前調査を実施し、カウンセリングに活用させる。		3.8	4
④	悩みを抱え込まずに他者に相談するよう、生徒への声をかけや、保健便り等を通して呼びかける。		3.8	4
⑤	全職員の協力と共通理解を図るために職員協議会で生徒の状況について情報交換する。		3.8	4
3	定期健康診断の完全実施…関係機関と連絡を密にし、すみやかに健康診断を実施できるように努める。			
①	本校の実態に即した健康診断計画を立てる。		3.9	1
②	検診・検査の日程を配布し、当日欠席しないよう呼びかける。		3.8	4
③	身体測定後はすみやかに個人通知する。		3.8	4
4	疾病・傷害の予防と早期発見、治療の徹底…自らの健康状態を把握し、検査および治療を受けるよう指導する。			
①	早期発見・治療をさせるために、異常がある生徒に治療の勧めを配布する。		3.9	1
②	検査、治療を促すために、未受診者に対し個別指導をする。		3.7	12
③	3年生まで医療費が無料なことを保健便り等や各終業式等で連絡し完了を促す。		3.7	12
5	校内環境美化、清掃の徹底…学習環境を整える。			
①	厚生委員による校内の美化活動を行う。		3.4	17
②	清掃を徹底させるために、会工の保健部と連絡調整する。		3.8	4
結果に対する分析・努力目標の反省				
○1-①保健便りは定期的に発行した。ポイントとなる点などをHRTを通して生徒に伝えてもらうなどし、内容の周知をはかった。③文化部員の協力を得てポスターを作成し、啓発活動を行った。 ○4-②未受診者に個別に指導し治療を促したが、受診しない生徒もいた。今年度中に未受診者がいなくなるよう声かけを継続するが、次年度はHRTの協力を得て、保護者の方からの働きかけも促していきたい。 ○5-①厚生委員にはゴミ捨てや扇風機の清掃などで協力してもらった。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
V 1学年				
1	基本的生活習慣を育成し健全な学校生活を送らせる。			
①	SHR、LHR等において挨拶指導を行う。		3.7	1
②	普段の生活の中で、敬語等、適切な言葉遣いを指導する。		3.7	1
③	相談室だよりをLHRで活用し、個人や集団生活におけるルールを遵守させる。		3.6	7
④	学校行事や時間割変更などの連絡を早め、かつ繰り返し行う。		3.6	7
⑤	生徒に応じた生活指導のために、個人面談を行う。		3.7	1
2	授業や家庭学習を大切にさせ、基礎学力を身に付けさせる。			
①	授業中に話を聞く態度や姿勢を指導し、正しい授業態度を確立させる。		3.7	1
②	予習や復習を促すために、勉強道具の持ち帰りを指導する。		3.4	11
③	定期考査に対する意識を高めるために、定期考査前に試験範囲の一覧を生徒に作成させる。		3.4	11
④	定期考査の結果等に対し、適宜個別指導を行う。		3.4	11
3	進路意識の向上を図る。			
①	LHRや面談により、自分の進路や将来について考えさせる。		3.7	1
②	進路希望調査を実施して、保護者との連携をとりながら進路情報を提供する。		3.7	1
③	進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。		3.6	7
④	社会性の育成のため就労活動を指導する。		3.3	15
⑤	礼儀作法や受け答えなど面接指導を行う。		3.6	7
⑥	必要に応じて作文や小論文の指導を行う。		3.4	11
結果に対する分析・努力目標の反省				
*数値間の差異は狭小であるが、比較的评价の高いものとしては「保護者との情報共有」等である。本学年は生徒の入学以前の不登校の割合が高く、保護者との密な連絡が欠かせないことがあった為であると考察する。また進路意識については、「まだ先のこと」と考える生徒があり、今後の進路意識の啓蒙が課題であるとする。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
V 2学年				
1	基本的な生活習慣を定着させる			
①	規則正しい生活習慣と規範意識の確立	不安定な時期があった生徒もいたが、今は全員が軌道に乗り、規則正しく生活に臨んでいる。	3.7	6
②	学校・社会・交通ルールなどを遵守することの必要性を認識させる。	ルールを守り生活に臨んでいる。	3.8	2
③	給食を食べる習慣を身につける。また、給食を介してクラスメイトとの交流を図る。	毎日、全員という訳にはいかないが、出席率は良い。	3.3	9
2	基本的な学習習慣を定着させる			
①	基礎学力の向上に努めさせる。	どの強化においても基本的な学習をおろそかにせず、丁寧に取り組んでいる。	3.8	2
②	理解できない所をそのままにせず、その都度質問するなどして理解していく努力をさせる。	授業での質問、発言も多く、前向きな姿勢で授業に臨んでいる。	3.9	1
③	日々の授業を大切に、受け身にならないよう心掛けさせる。	教科によってばらつきはあるが、おおむね積極的な姿勢で授業に臨んでいる。	3.8	2
3	進路意識を向上させる			
①	アルバイト等に積極的に取り組み、進路意識や社会性を育ませる。	学校生活を優先しながらクラスメイト全員がアルバイトに臨むようになった。	3.8	2
②	LHRや面談を通して、進路について考えさせる。	進路意識を持たせる努力はしているものの、世界観が狭く、アルバイトの延長上に就職がる。	3.6	8
③	本人はもちろん保護者とも連携を取り、考えていく。	保護者との連携は今後深めていくつもりである。	3.7	6
結果に対する分析・努力目標の反省				
おおむね目標を達成することができていたが、個々の特別な事情等があり、満足に達成できない部分も多かった。全体のクラス運営はもとより、個人との会話や観察を怠らず、職員全員で問題を捉えていけるよう努力を重ねていきたい。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
V 3学年				
1 基本的な生活習慣を身に付けさせ健全な学校生活を送らせる。				
①	スクールタイム、登校指導等において挨拶指導を行う。		2.9	8
②	普段の生活の中で、敬語等、適切な言葉遣いを指導する。		2.8	10
③	欠席、遅刻、早退を減らすため、保護者への連絡を必ず行う。		2.2	14
④	SHRで生徒の確実な準備のために、学校行事や時間割変更などの連絡を早め、かつ繰り返し行う。		3	5
⑤	生徒に段階に応じた生活指導のために、個人指導を行う。		2.7	12
2 家庭学習の習慣化を促し、基礎学力を身に付けさせる。				
①	主体的な姿勢を育成するために、授業において「書く」「話す」といった生徒の活動を積極的に取り入れる。		3.1	2
②	予習や復習を促すために、基本事項を繰り返し指導する。さらに、定期考査の結果等に対し、適宜個別指導を行う。		2.8	10
③	課題等の提出状況を把握し、提出するように繰り返し指導する。		2.7	12
④	生活体験発表会、生徒会機関誌「銀鳶」の原稿作成を通じて書くことの大切さを指導する。		3	5
3 進路意識を高めさせる。				
①	進路講話を活用し、社会で求められる人間について説明し、理解させる。		3.2	1
②	進路希望調査や個別面談を通じて、生徒や保護者の進路希望を十分に把握する。		3	5
③	進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。		3.1	2
④	個別面談を通じて生徒の希望を踏まえ、保護者と連携をしながら適切な助言をする。		2.9	8
⑤	来年度へ向けて、LHR・総合的な学習の時間で、履歴書(入学願書)の書き方、求人票の見方などを学習させる。		3.1	2
結果に対する分析・努力目標の反省				
「基本的な生活習慣を身につけさせ健全な学校生活を送らせる」ことに関しては、今後も引き続き指導の向上を図る必要を感じた。「家庭学習の習慣化を促し、基礎学力を身に付けさせる」ことに関しては、定期テストの反省、および提出物の把握について、今後は力を入れてゆきたい。「進路意識を高めさせる」ことに関しては、ほぼ目標を達成できたように思われる。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
V 4学年				
1 基本的な生活習慣や、場面に合った服装・言葉遣いを身に付けさせる。				
①	職員室の入退室、SHR等において挨拶指導を行う。		4	1
②	普段の生活の中で、大きな声ではっきり話すことや、適切な言葉遣いを指導する。		4	1
③	欠席、遅刻、早退を減らすため、回数が多い場合は保護者へ改善の協力を求める。		3.8	7
④	生徒の確実な準備のために、学校行事や時間割変更などの連絡を、早めかつ繰り返し行う。		3.8	7
⑤	生徒に応じた生活指導のために、個人面談を行う。		3.9	3
2 家庭学習の習慣化を促し、主体的に学習する態度を養う。				
①	SHRで課題等の有無を確認し、期限までに提出するよう呼びかけ、提出したかどうか確認する。		3.8	7
②	予習や復習を促すために、勉強道具の持ち帰りを指導する。		3.6	15
③	定期考査に対する意識を高めるために、定期考査前に学習計画を作成させる。		3.8	7
④	定期考査の結果等に対し、適宜個別指導を行う。		3.8	7
⑤	教科担任との連携を密にし、授業態度や提出物等に問題がないか確認し、問題がある生徒については指導をする。		3.8	7
3 進路意識を高め、生徒の希望に応じた進路決定を目指す。				
①	LHRで進路決定と卒業までのスケジュールを確認させる。		3.8	7
②	進路希望調査や個別面談を通じて、生徒の進路希望を把握する。		3.9	3
③	7月までに三者面談を行い、進路希望について生徒・保護者との共通理解を図る。		3.9	3
④	進路指導部と連携し、進路に関する十分な情報を生徒に提供する。		3.7	14
⑤	生徒の進路に応じ、計画的に筆記試験・面接練習などの個別指導を行う。		3.9	3
結果に対する分析・努力目標の反省				
1 職員室への入退室や、普段の授業など、機会を捉えながらはっきりと話すよう指導した。進路対策として多くの先生方から面接指導を受けたこともあり、昨年度と比較して改善が見られた。 2 課題等の提出、自主的な家庭学習については個人により取り組み方に差があった。学習成績については個別指導を行い、得意不得意や取り組み方について確認し、改善点を考えさせることで自己理解を促した。 3 生徒達はそれぞれよく考えて進路選択を行った。手続きが遅れがちになるなど、事務手続きに慣れていない部分が見られたが、反省し今後活かしてほしい。 進路はほぼ決定することができた。卒業後の活躍を期待したい。				

令和元（平成31）年度 学校経営・運営ビジョンおよび各部・学年努力目標の評価

◎評価段階 : 4 【そう思う】 3 【まあまあそう思う】 2 【あまりそう思わない】 1 【そう思わない】

No	評価内容	理由・要望・改善点など自由記載(任意)	平均	順位
令和元年度 学校評価アンケート (教職員用)				
No	質 問	そう思う理由・要望・改善点など	評価	評価
1	生徒に分かりやすい授業を心がけていますか。		3.8	2
2	学習事項が定着するように、繰り返し学習や復習をするなど、ていねいな授業を行っていますか。		3.6	12
3	個別添削指導、模擬面接、小論文指導など生徒の進路達成のための支援に努めていますか。		3.8	2
4	学校行事や部活動を通して、連帯感や円滑な人間関係の育成に努めていますか。		3.7	5
5	生徒の学習上の悩みや生活上の悩みなどの相談があるとき、懇切に相談に乗ったり、アドバイスをしよう心がけていますか。		3.9	1
6	『進路講話』は、生徒の進路意識高揚の上で役にたつと思いますか。		3.6	12
7	ハローワークや関係機関などの進路情報は、生徒が自分の進路を考える上で参考になったと思いますか。		3.6	12
8	生徒に進路上の悩みや相談があるとき、懇切に相談に乗ったり、アドバイスをしよう心がけていますか。		3.8	2
9	登下校指導や給食指導は生徒の規則的な生活習慣の確立に寄与していると思いますか。		3.2	16
10	『生活体験発表会』は生徒の自己理解や自己実現に役立っていると思いますか。		3.7	5
11	『交通安全教室』、『薬物乱用防止教室』は、生徒が日常生活の安全を考える上で参考になったと思いますか。		3.7	5
12	スクールカウンセラーによる面談は、生徒の役に立っていると思いますか。		3.7	5
13	『心の健康教室』は心の健康に役立っていると思いますか。		3.7	5
14	鶴ヶ城清掃ボランティアは、地域のために役立っていると思いますか。		3.7	5
15	給食は1食324円ですが、生徒にとって満足できる内容だと思いますか。		3.6	12
16	学校は、『オーロラ(学校だより)』、『相談室だより』、『進路だより』、『給食だより』、『レーゼ・ガール』、『PTA会報』などを通して、学校の情報を十分に提供していると思いますか。		3.7	5
17	その他、学校の取組に対するご意見・要望等があればご記入ください。			